

# 台湾における ジェンダー主流化と 女性運動の展開

**講師** 福永玄弥(日本学術振興会・特別研究員)

**司会** 申 琪榮(お茶の水女子大学 IGS)

台湾はアジアでもっとも「ジェンダー平等」な社会であるとともに、近年は「LGBTフレンドリー」であることも広く知られるようになりました。ところが1990年代以前の台湾は女性や性的少数者に対して差別的な社会であり、人権を保障する制度を欠いていたことはあまり知られていません。今回は、とりわけ1990年代以降の女性運動の展開や国内・国際政治の動向から、台湾で急速にジェンダー主流化が進展した背景を紹介するとともに、女性運動が抱えてきた困難にも言及します。台湾スタディツアー(2017年1月16~19日予定)で訪問する運動団体の歴史や取り組みにも触れる予定です。ぜひご参加ください。

お申し込み方法：①お名前、②ご連絡先を添えて、下記のお申し込み先までご連絡ください。

## お申し込み・問い合わせ

特定非営利活動法人アジア女性資料センター

E-mail: [ajwrc@ajwrc.org](mailto:ajwrc@ajwrc.org) TEL: 03-3780-5245 Fax: 03-3463-9752 HP: <http://ajwrc.org>

※情報保障などサポートが必要な方は事前にご連絡ください。

日時：2016年 **12月12日** 18:30~20:30

会場：お茶の水女子大学 本館 135 (カンファレンスルーム)